現代日本語の「～的」について
—雑誌『中央公論』1992年11月号の場合—

南雲 千歌

1 はじめに

「魅力的」「美的」「歴史的」…今日、私達は生活のなかでいろいろな、そして数多くの「～的」という言葉を使用している。「～的」という表現は、それを付けてしまうと意見がもっともろしく聞こえたり、おさまりがついた感じになるせいか、いろいろな単語となって活躍している。人はどのような時にどのような単語に「～的」をつけて使用しているのであろうか。

「～的」の起源については、磯辺弥一郎氏が「国文に及ぼせる英語の感化」（1906）という論文の中で、以下のように記している。

「…又形容詞や副詞に的を附することも明治の新語法で其以前の文にはない。…」寄合って雑談が始まった、其時一人が不図かのような事を言い出した。Systemを組織と訳するはよいが、Systematicが訳し悪く、ticという後加へは、小説の的の字と声が似て居る、何と組織的と訳したらどうであろうと言ふと、皆々それは妙だとい一時凌ぎに的の字を当がた、最初は何となく変に思ったが後には何とも思はず、人も亦承知するやうに為った。…」（磯辺、1906：10）

この言によると、「～的」という語は明治の新造語法であり、しかもその語源が英語の“～tic”の“tic”と言が似ているというところから来たようである。今日、私達はテレビを観ても雑誌を読んでも「～的」という語にあたる、という時代に生きているが、意外にもこの「～的」の歴史は短いものであり、しかも何と微笑ましいエピソードをもって誕生している。誕生してからわずか百年の間に現代語として多用されているようになったこの「的」という一字が、どのように発生し、広がり、使用されているかを考ることは現代の日本語の特質をとらえることにつながっていくと思われる。
「〜的」の使用状況を把握するためには、1）「〜的」の発生期の状況、2）「〜的」が普及する要因となっている性質、3）現在の「〜的」の使用実態の3つの観点が考えられる。

「〜的」の発生期の状況については、山田巌氏が昭和30年に「発生期における的という」との「〜的」という語は使用されてきたがどちらは中国の俗文で使用される用法であり、人名の一部を取って「的」を付けて用いる用法でいずれも現在の用法とは異なるもので（注1）、現在の用法で「〜的」が使用されはじめたのは明治十年代の西周、中村正直といった学者がによる論文や学術的な翻訳書といった硬い文体の文章の中であった。そして学術用語集『哲学字彙』に登録されたことが契機となって研究者に広まり、さらに明治十年代末には小説や評論などの分野で広く使用されるようになった（山田、1961:56-61）。

また、「〜的」が現代語で多用されるようになった要因について、山田氏は日本語の本質的な面から「日本語に本来の形容詞が乏しいということが底流にある」と、「〜的」という語の持つ機能面から「接尾的要素としての漢語の生産力が大きい」ことを述べている（山田、1961:61）。また藤居信雄氏は、「〜的」の氾濫は「的」の持つ多義あいまいさによるものであると指摘している（藤居、1957:72）。さらに「〜的」の使用実態については、国立国語研究所が『総合字彙収録』の中で接尾語としての「〜的」の使用頻度の高さを報告しているが（国研、1957:64）、「〜的」と話題との関係、「〜的」の語語や表記との関係、語の意味との関係などについては未調査である。そこで本稿では1冊の雑誌からの「〜的」という表を全て出しこれを掲載記事の専門分野、語種、表記、語の意味、の観点から考察し、現代の「〜的」の使用状況を明らかにしたい。

2 調査の対象

「的」の使用状況を探るにあたって、調査したのは『中央公論』の1992年11月号である。その理由は、現代の日常生活における「〜的」をとらえるにはいろいろなテーマが掲載されるか否か専門書よりも一般向きとされる雑誌の方が適当であると思われたからである。そして『雑誌用語の変遷』（国立国語研究所、1987）にも取り上げられている『中央公論』を調査対象として、特に1992年11月号1冊に焦点を絞って、この中から「〜的」という語をすべて採集しこれらを分析することとする。11月号を選んだことに特別な意図はない。

3 「〜的」の使用と専門分野との関係

雑誌『中央公論』の掲載記事の専門分野をこの雑誌の編集方針による分野分類に基づき

- 73 -
て整理したところ、1992年11月号1冊には政治・経済・文化一般・社会問題・歴史伝記・文芸活動・医学健康・広告の8分野があった。専門分野とそれに属する記事のタイトルは以下の通りである。

| A 政治 | ・政治浄化には強力な法規制だけ
|  | ・いますぐ「土地本省」をつくれ
|  | ・宮沢首相の指名アジア安保に疑問
|  | ・冷戦後最初の大統領は何をすべき
|  | ・イスラム主義の台頭と西側の選択
|  | ・イタリアの政治的混乱と選挙制度
|  | ・政治天気図  中 国 の 挑 戰  冷 戦 後 の 国 際 謀 略 ゲー ム
| B 経済 | ・バブル後のシナリオが見えてこない
|  | ・おやじ宗一郎だってわかってくれる
|  | ・経済見通し”懺悔”，それほど春遠からじ
|  | ・安土敏「さらば，法人優遇社会」
|  | ・カリフォルニア米の秋  東 欧 に 資 本 主 義 を 教 え る 新 華 僑
| C 文化一般 | ・クリントンの生まれた町  ホットライン（投書欄）
|  | ・名門パブは第二の「わが家」 砂漠と孤立
|  | ・貝倉記  木の葉髪
|  | ・こんなにも違う中国人と日本人
|  | ・笑うせえるすまん 「キムキムランド」訪問記
|  | ・「問題集」をつくる努力から 固有名詞の形容詞化
|  | ・中公読書室
|  | ・完璧なダイナミックスで歌いあげて
|  | ・喫煙という儀式  ・『花に問え』を推す
|  | ・月皓々〜七十歳の受賞  人物交差点
|  | ・この世とあの世  燃を望む
|  | ・「日本経済の構想」を推す  示唆に富む二つの著書
|  | ・人物  今月の言葉
| D 社会問題 | ・80年代を襲った六大変化  ボーグレス時代のボーダー
|  | ・ヤツラは頽もしい  ＰＫＯ部隊 出陣の朝
|  | ・最も危険な国・・・旧ソ連13% 日本31%
|  | ・常温超伝導への挑戦  普後均−ゲームの終わり
|  | ・東京大停電

- 74 -
・結婚への”常識”の崩壊と結婚へのこだわり
E 歴史伝記  ・『フォーリン・アフェアーズ』の七十年
   ・伊藤周左門
F 文芸活動  ・三十一文字のパレット ・道頓堀の雨に別れて以来なり
G 医学健康  ・治ってたまるか老人ボケが
H 広告

まず、上ののように分類した専門分野の記事が占めるページ数を調べ、1冊の中での分野の割合を調べた。結果は表1の通りである。分野としては政治、文化一般、社会問題が大きなページ数を占めている。法律、思想哲学に関する記事はない。

表1：各専門分野のページ数とその割合

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学健康</th>
<th>広告</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ページ数</td>
<td>118</td>
<td>34</td>
<td>159</td>
<td>70</td>
<td>25</td>
<td>13</td>
<td>10</td>
<td>27</td>
<td>456</td>
</tr>
<tr>
<td>ページ数（％）</td>
<td>25.9</td>
<td>7.5</td>
<td>34.9</td>
<td>15.3</td>
<td>5.5</td>
<td>2.8</td>
<td>2.2</td>
<td>5.9</td>
<td>100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

そこで、専門分野別の「〜的」の使用実態を見ていく。まず、各分野で使用された「〜的」を50音順に並べると表2のようになる。

表2：『中央公論』で使用された「〜的」の分野別五十音順語彙表（数字は使用度数）

A 政治
アジア的 1 一時的 3 開放的 2 客観的 1
圧倒的 7 一般的 2 外交的 2 救済的 1
安定的 7 一方的 3 楽観的 2 究極的 1
イスラム主義的 1 永続的 1 危機的 1 距離的 1
イスラム的 6 汚職的 1 基本的 6 協調的 3
イタリア的 1 横断的 1 機械的 2 強制的 1
イデオロギー的 1 経米的 1 機能的 1 教義的 1
意識的 2 可及的 1 記念碑的 1 近代的 1
意図的 3 過激主義的 1 儀礼的 1 金銭的 1
一義的 1 画期的 1 疑似論理的 1 具体的 6

- 75 -
<table>
<thead>
<tr>
<th>軍事的</th>
<th>7</th>
<th>社会的</th>
<th>3</th>
<th>対決的</th>
<th>1</th>
<th>非軍事的</th>
<th>7</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>形式的</td>
<td>2</td>
<td>主観的</td>
<td>1</td>
<td>高揚枝</td>
<td>1</td>
<td>非効率的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>経済的</td>
<td>12</td>
<td>主導的</td>
<td>1</td>
<td>単発的</td>
<td>1</td>
<td>非暴力的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>決定的</td>
<td>2</td>
<td>儒教的</td>
<td>1</td>
<td>短期的</td>
<td>3</td>
<td>飛躍的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>結果の</td>
<td>1</td>
<td>周辺的</td>
<td>1</td>
<td>知的</td>
<td>1</td>
<td>必然的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>建設的</td>
<td>1</td>
<td>宗教的</td>
<td>2</td>
<td>地域的</td>
<td>7</td>
<td>表面的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>現実的</td>
<td>4</td>
<td>集中的</td>
<td>1</td>
<td>地政学的</td>
<td>1</td>
<td>普遍的</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>個人的</td>
<td>7</td>
<td>消極的</td>
<td>1</td>
<td>中心的</td>
<td>2</td>
<td>ファシスト的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>古典的</td>
<td>1</td>
<td>情緒的</td>
<td>1</td>
<td>中長期的</td>
<td>2</td>
<td>武士道的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>固定的</td>
<td>1</td>
<td>心理的</td>
<td>2</td>
<td>抽象的</td>
<td>2</td>
<td>部分的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>孤立主義の</td>
<td>2</td>
<td>進歩的</td>
<td>1</td>
<td>超党派的</td>
<td>1</td>
<td>副次的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>公的</td>
<td>16</td>
<td>人為的</td>
<td>1</td>
<td>長期的</td>
<td>11</td>
<td>物質的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>効果的</td>
<td>10</td>
<td>人間的</td>
<td>1</td>
<td>直接的</td>
<td>3</td>
<td>文化的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>好意的</td>
<td>2</td>
<td>人的</td>
<td>3</td>
<td>敵對的</td>
<td>2</td>
<td>平均的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>恒常的</td>
<td>2</td>
<td>垂直的</td>
<td>1</td>
<td>徹底的</td>
<td>2</td>
<td>平和的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>攻擊的</td>
<td>1</td>
<td>スケジュール的</td>
<td>1</td>
<td>典型的</td>
<td>1</td>
<td>保守的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>構造的</td>
<td>1</td>
<td>世界的</td>
<td>3</td>
<td>伝統的</td>
<td>5</td>
<td>包括的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>合理的</td>
<td>7</td>
<td>世俗的</td>
<td>2</td>
<td>爆派的</td>
<td>1</td>
<td>法的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>国際的</td>
<td>10</td>
<td>制限的</td>
<td>1</td>
<td>同情的</td>
<td>1</td>
<td>法律的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>国民的</td>
<td>1</td>
<td>政治・経済的</td>
<td>1</td>
<td>道徳的</td>
<td>5</td>
<td>暴力的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>最終的</td>
<td>12</td>
<td>政治的</td>
<td>36</td>
<td>独断的</td>
<td>1</td>
<td>本格的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>暫定的</td>
<td>1</td>
<td>精神的</td>
<td>6</td>
<td>日常的</td>
<td>1</td>
<td>本質的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>指揮者の</td>
<td>1</td>
<td>積極的</td>
<td>12</td>
<td>能率的</td>
<td>1</td>
<td>民族的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>支配的</td>
<td>2</td>
<td>接き木的</td>
<td>1</td>
<td>抜本的</td>
<td>5</td>
<td>野心的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>事後的</td>
<td>1</td>
<td>絶对的</td>
<td>2</td>
<td>反イスラム的</td>
<td>4</td>
<td>蹴動作的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>時期的</td>
<td>1</td>
<td>絶望的</td>
<td>1</td>
<td>反ロシア的</td>
<td>1</td>
<td>ヤミ献金的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>自覚的</td>
<td>1</td>
<td>戦術的</td>
<td>2</td>
<td>反倫理的</td>
<td>1</td>
<td>理性的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>自発的</td>
<td>2</td>
<td>戦略的</td>
<td>4</td>
<td>犯罪的</td>
<td>1</td>
<td>歴史的</td>
<td>11</td>
</tr>
<tr>
<td>実質的</td>
<td>10</td>
<td>全域的</td>
<td>5</td>
<td>否定的</td>
<td>2</td>
<td>論理的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>実体的</td>
<td>2</td>
<td>全体主義的</td>
<td>1</td>
<td>悲観的</td>
<td>1</td>
<td>異なり語数</td>
<td>171</td>
</tr>
<tr>
<td>実体法的</td>
<td>1</td>
<td>全面的</td>
<td>1</td>
<td>悲劇的</td>
<td>1</td>
<td>延べ語数</td>
<td>474</td>
</tr>
<tr>
<td>実務的</td>
<td>4</td>
<td>総体的</td>
<td>2</td>
<td>批判的</td>
<td>5</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>社会経済的</td>
<td>2</td>
<td>対外的</td>
<td>1</td>
<td>比較的</td>
<td>2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### B 経済

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>安定的</td>
<td>1</td>
<td>高度成長的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>一時的</td>
<td>2</td>
<td>国際的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>画一的</td>
<td>1</td>
<td>最終的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的</td>
<td>2</td>
<td>シェア争い的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>技術的</td>
<td>2</td>
<td>資本主義的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>経済的</td>
<td>4</td>
<td>持続的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>ゲリラ的</td>
<td>1</td>
<td>自主的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>古典的</td>
<td>1</td>
<td>真実的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>公的</td>
<td>1</td>
<td>人的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>構造的</td>
<td>2</td>
<td>世界的</td>
<td>2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>制度的</td>
<td>1</td>
<td>平均的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>政策的</td>
<td>1</td>
<td>本質的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>相对的</td>
<td>1</td>
<td>魅力的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>対照的</td>
<td>2</td>
<td>良心的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>大々的</td>
<td>1</td>
<td>歴史的</td>
<td>1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### C 文化一般

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>压倒的</td>
<td>3</td>
<td>儀礼的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>デオロギー的</td>
<td>1</td>
<td>技術的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>図的</td>
<td>1</td>
<td>構造的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>緯度的</td>
<td>2</td>
<td>驚異的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>一般的</td>
<td>4</td>
<td>均質的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>一方的</td>
<td>2</td>
<td>近代的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>印象的</td>
<td>2</td>
<td>具体的</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td>運動学的</td>
<td>1</td>
<td>空間的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>運動感覚的</td>
<td>1</td>
<td>偶然的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>画期的</td>
<td>2</td>
<td>兄弟的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>怪物的</td>
<td>1</td>
<td>形容詞的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>概念的</td>
<td>2</td>
<td>経験的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>隔世遺伝的</td>
<td>1</td>
<td>経済的</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>カリスマ的</td>
<td>2</td>
<td>劇的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>起的</td>
<td>1</td>
<td>決定的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>官能的</td>
<td>1</td>
<td>原始的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>感覚的</td>
<td>2</td>
<td>現実的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>観念的</td>
<td>1</td>
<td>個人的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>基礎的</td>
<td>1</td>
<td>個性的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的</td>
<td>9</td>
<td>固定的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>記念地的</td>
<td>1</td>
<td>好戦的</td>
<td>1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>恒常的</td>
<td>1</td>
<td>宗教的</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>構造的</td>
<td>1</td>
<td>重層的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>肯定的</td>
<td>1</td>
<td>商人的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>行動的</td>
<td>1</td>
<td>小説的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>合理的</td>
<td>1</td>
<td>情緒的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>国際的</td>
<td>10</td>
<td>官員的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>今日的</td>
<td>1</td>
<td>心情的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>世界史的</td>
<td>1</td>
<td>世界的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>决定的</td>
<td>1</td>
<td>事後的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>原始的</td>
<td>1</td>
<td>性的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>自然科学的</td>
<td>1</td>
<td>政策的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>個人的</td>
<td>3</td>
<td>政治・軍事的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>実証的</td>
<td>1</td>
<td>政治的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>社会的</td>
<td>10</td>
<td>生態学的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>社交的</td>
<td>1</td>
<td>精神運動的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>D 社会問題</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----------------</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
<td>---</td>
</tr>
<tr>
<td>压倒的</td>
<td>1</td>
<td>具体的</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td>意識的</td>
<td>1</td>
<td>軍事的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>意図的</td>
<td>1</td>
<td>形式的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>一般的</td>
<td>1</td>
<td>経済的</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>印象的</td>
<td>2</td>
<td>継続的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>加速的</td>
<td>1</td>
<td>劇的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>階級的</td>
<td>1</td>
<td>決定的</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>活動的</td>
<td>1</td>
<td>結果的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>感傷的</td>
<td>1</td>
<td>建設的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>観念的</td>
<td>1</td>
<td>現実的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>基礎的</td>
<td>1</td>
<td>効果的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的</td>
<td>6</td>
<td>好意的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>記録的</td>
<td>1</td>
<td>恒久的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>技術的</td>
<td>1</td>
<td>肯定的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>急進的</td>
<td>1</td>
<td>合法的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>近視眼的</td>
<td>2</td>
<td>國際的</td>
<td>1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<p>| 精神的 | 1 | 地域的 | 1 | 特権的 | 1 | 文化交流的 | 1 |
| 積極的 | 6 | 地球的 | 1 | 内発的 | 2 | 文学的 | 1 |
| 絶望的 | 1 | 地質学的 | 2 | 日本人的 | 2 | ヘラクレス的 | 1 |
| 専制的 | 1 | 中・長期的 | 2 | 日本的 | 3 | 法律論的 | 1 |
| 戦闘的 | 1 | 中央集権的 | 1 | 爆発的 | 1 | 暴力的 | 1 |
| 旋律的 | 1 | 中間的 | 1 | 悲劇的 | 1 | 牧歌的 | 5 |
| 前時代的 | 1 | 中国的 | 3 | 批判的 | 1 | 本格的 | 4 |
| 全面的 | 1 | 中長期的 | 1 | 比較的 | 1 | 本質的 | 2 |
| 相対的 | 1 | 長期的 | 3 | 非友好的 | 3 | 民族的 | 2 |
| 総合的 | 2 | 直観的 | 3 | 飛躍的 | 1 | 薬理学的 | 1 |
| 荒廃的 | 1 | 直接的 | 1 | 普遍的 | 1 | 楽觀的 | 1 |
| 即物的 | 1 | 定期的 | 1 | 封建的 | 1 | 優先的 | 1 |
| 大々的 | 2 | 定形的 | 1 | 風土的 | 1 | 歴史的 | 8 |
| 継続的 | 1 | 伝説的 | 1 | 複合的 | 1 |  |  |
| 知覚心理的 | 1 | 伝統的 | 1 | 仏教的 | 2 | 異なり語数 | 146 |
| 知的 | 7 | 動的 | 1 | 物質的 | 1 | 延べ語数 | 256 |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th>定義</th>
<th>反映</th>
<th>例文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>短期的</td>
<td>伝統的</td>
<td>表面的</td>
</tr>
<tr>
<td>地域的</td>
<td>同時進行的</td>
<td>物質主義的</td>
</tr>
<tr>
<td>中核的</td>
<td>道徳的</td>
<td>物理的</td>
</tr>
<tr>
<td>中心的</td>
<td>発作的</td>
<td>文化的</td>
</tr>
<tr>
<td>中長期的</td>
<td>拠本的</td>
<td>米国の</td>
</tr>
<tr>
<td>中立的</td>
<td>反イスラーム的</td>
<td>保護主義的</td>
</tr>
<tr>
<td>抽象的</td>
<td>否定的</td>
<td>法的</td>
</tr>
<tr>
<td>長期的</td>
<td>悲劇的</td>
<td>史的</td>
</tr>
<tr>
<td>定期的</td>
<td>批判的</td>
<td>法律的</td>
</tr>
<tr>
<td>データ的</td>
<td>非好意的</td>
<td>ボスの</td>
</tr>
<tr>
<td>徹底的</td>
<td>非友好的</td>
<td>本格的</td>
</tr>
<tr>
<td>典型的</td>
<td>飛躍的</td>
<td>本質的</td>
</tr>
</tbody>
</table>

E 歴史伝記

<table>
<thead>
<tr>
<th>定義</th>
<th>反映</th>
<th>例文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>意図的</td>
<td>古典的</td>
<td>全般的</td>
</tr>
<tr>
<td>学問的</td>
<td>効果的</td>
<td>相互的</td>
</tr>
<tr>
<td>楽観的</td>
<td>好意的</td>
<td>妥協的</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的</td>
<td>攻撃的</td>
<td>対照的</td>
</tr>
<tr>
<td>記念碑的</td>
<td>構造的</td>
<td>短期的</td>
</tr>
<tr>
<td>協調的</td>
<td>国家的</td>
<td>段階的</td>
</tr>
<tr>
<td>具体的</td>
<td>国際的</td>
<td>知的</td>
</tr>
<tr>
<td>偶発的</td>
<td>最終的</td>
<td>地域的</td>
</tr>
<tr>
<td>軍事的</td>
<td>消極的</td>
<td>地世学的</td>
</tr>
<tr>
<td>啓蒙的</td>
<td>死活的</td>
<td>中期的</td>
</tr>
<tr>
<td>経済的</td>
<td>世界的</td>
<td>中心的</td>
</tr>
<tr>
<td>決定的</td>
<td>政治的</td>
<td>長期の</td>
</tr>
<tr>
<td>建設的</td>
<td>積極的</td>
<td>帝国主義的</td>
</tr>
<tr>
<td>現実的</td>
<td>戦略的</td>
<td>道義的</td>
</tr>
</tbody>
</table>

F 文芸活動

<table>
<thead>
<tr>
<th>定義</th>
<th>反映</th>
<th>例文</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大阪的</td>
<td>精神的</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
G 医学健康

<p>| | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>压倒的</td>
<td>1</td>
<td>根本的</td>
<td>1</td>
<td>神経症的</td>
</tr>
<tr>
<td>一時的</td>
<td>1</td>
<td>実質的</td>
<td>1</td>
<td>積極的</td>
</tr>
<tr>
<td>一般的</td>
<td>2</td>
<td>社会的</td>
<td>1</td>
<td>反社会的</td>
</tr>
<tr>
<td>客観的</td>
<td>2</td>
<td>集中的</td>
<td>2</td>
<td>比較的</td>
</tr>
<tr>
<td>好意的</td>
<td>1</td>
<td>消極的</td>
<td>3</td>
<td>病的</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

H・広告

<p>| | | | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>悪魔的</td>
<td>1</td>
<td>構成主義的</td>
<td>1</td>
<td>政治的</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>基本的</td>
<td>2</td>
<td>国際的</td>
<td>1</td>
<td>専門的</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>機能主義的</td>
<td>1</td>
<td>根本的</td>
<td>1</td>
<td>代表的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>共時的</td>
<td>1</td>
<td>刺激的</td>
<td>1</td>
<td>徹底的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>具体的</td>
<td>2</td>
<td>指導的</td>
<td>1</td>
<td>範型論的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>劇的</td>
<td>1</td>
<td>実証的</td>
<td>1</td>
<td>非友好的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>古典的</td>
<td>1</td>
<td>世界的</td>
<td>1</td>
<td>咲術的</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>異なり語数 23</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>延べ語数 28</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

以上の各専門分野で使用された「的」を、語数とページ数の関係から見ると表3のようなになる。

表3：各専門分野と「的」の語数の関係

<table>
<thead>
<tr>
<th>語数</th>
<th>専門分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学健康</th>
<th>広告</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>延べ語数</td>
<td>474</td>
<td>53</td>
<td>266</td>
<td>187</td>
<td>123</td>
<td>6</td>
<td>21</td>
<td>28</td>
<td>1158</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>異なり語数</td>
<td>171</td>
<td>35</td>
<td>159</td>
<td>108</td>
<td>52</td>
<td>6</td>
<td>15</td>
<td>23</td>
<td>347</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ページ数</td>
<td>118</td>
<td>34</td>
<td>159</td>
<td>70</td>
<td>25</td>
<td>13</td>
<td>10</td>
<td>27</td>
<td>456</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>延べ語数/ページ数</td>
<td>4.0</td>
<td>1.5</td>
<td>1.7</td>
<td>2.7</td>
<td>4.9</td>
<td>0.5</td>
<td>2.1</td>
<td>1.0</td>
<td>2.5</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>異なり語数/ページ数</td>
<td>1.4</td>
<td>1.0</td>
<td>1.0</td>
<td>1.6</td>
<td>2.0</td>
<td>0.5</td>
<td>1.5</td>
<td>0.9</td>
<td>0.8</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

延べ語数から一冊の雑誌の中での1ページあたりの平均使用語数を見ると、全体では2.5語であった。

延べ語数で各分野の使用率を高い方から見ていくと、第1位は歴史伝記で4.9語、第2位が政治の4.0語であった。第3位が社会問題で2.7語、以下医学健康が2.1語、文化一般が1.7語、経済が1.5語、広告が1.0語、文芸活動が0.5語であった。つまり、歴史伝記、政
治は圧倒的に「～的」の使用が多く、ページ数としては第2位を占める文化一般が平均使用語数2.7語、社会問題と医療健康は2.5語前後で平均的である。経済関係は1.5語で少ない。広告、文芸活動では平均使用語数が1.0語以下で少ない。以上のように、掲載記事の内容と「～的」の使用語数にはなんらかの関係が見られる。

また、異なり語数で1ページあたりの平均使用語数を見ると全体では0.8語であった。平均使用語数が多い第1位は歴史伝記で2.0語、第2位が社会問題で1.6語、第3位が医学健康で1.5語、次いで政治の1.4語、経済、文化一般の1.0語、広告の0.9語、文芸活動の0.5語であった。延べ語数と異なり語数との関係を比べると、政治では延べ語数に比べると異なり語数が延べ語数の約三分の1と少なく、歴史伝記も約二分の一である。これに対して経済、医学健康、広告は延べ語数と異なり語数とがかなり近い数で文芸活動では同数である。掲載分野と「～的」の単語の使用度数との関係が見られる。

4 「～的」の前にくる語の種類と表記

そこで、「的」の前にどのような言葉があらわれるかについて語種と表記の面から考察する。

1）語種

まず「的」の前にくる語の語種を分類すると表4の通りである。

表4：的の前にくる語の語種

<table>
<thead>
<tr>
<th>語種</th>
<th>分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学健康</th>
<th>広告</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>漢語</td>
<td></td>
<td>159</td>
<td>32</td>
<td>143</td>
<td>104</td>
<td>5</td>
<td>15</td>
<td>23</td>
<td>327</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>和語</td>
<td></td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>和語＋漢語</td>
<td></td>
<td>2</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語</td>
<td></td>
<td>6</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>3</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>13</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語＋和語</td>
<td></td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語＋漢語</td>
<td></td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>漢語＋外来語</td>
<td></td>
<td>2</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td>171</td>
<td>35</td>
<td>146</td>
<td>108</td>
<td>52</td>
<td>6</td>
<td>15</td>
<td>23</td>
<td>347</td>
</tr>
</tbody>
</table>

これを百分率で表すと表5のようになる。
表5：的の前に付く語の語種

(表内の数字は％)

<table>
<thead>
<tr>
<th>語種</th>
<th>分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学健康</th>
<th>広告</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>漢語</td>
<td>93.0</td>
<td>91.4</td>
<td>98.0</td>
<td>96.3</td>
<td>100</td>
<td>83.3</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
</tr>
<tr>
<td>和語</td>
<td>0.6</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>16.7</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>和語＋漢語</td>
<td>1.2</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語</td>
<td>3.4</td>
<td>5.7</td>
<td>2.1</td>
<td>2.7</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>3.9</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語＋和語</td>
<td>0.6</td>
<td>2.9</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語＋漢語</td>
<td>0.6</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>漢語＋外来語</td>
<td>1.2</td>
<td>0.0</td>
<td>1.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.0</td>
<td>0.9</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

「的」の前に付く語は漢語が全体で93.6％と圧倒的に多く見られる。和語は「接ぎ木」 「大阪」の2語のみであった。和語と漢語との組合せは「ヤミ献金」と「高橋枝」の2語のみで、いずれも「和語＋漢語」の順で、「漢語＋和語」はない。外来語は和語よりは例が多く、「アジア」「イスラム」「イタリア」「イテオロギー」「カリスビ名」「デザ」 「スケジュール」「データ」「ピラミッド」「ファシスト」「ヘラクレス」「ボス」 「リベルタリアン」の13語である。また、外来語と漢語との組合せでは「外来語＋漢語」 「外来語＋漢語」「漢語＋外来語」の組合せが見られた。「外来語＋和語」は「シェア争い」、「外来語＋漢語」は「イスラム主義」の1例で、「漢語＋外来語」では「反イスラーム」のようにすべて「反」に外来語がつくものであった。語種別に分野を見っていくと、

* 漢語のみを使用…………………………歴史伝記、医学健康、広告
* 漢語、和語を使用…………………………文芸活動
* 漢語、外来語を使用……………………文化一般
* 漢語、外来語、外来語＋和語、漢語＋外来語を使用…………経済、社会問題
* 漢語、和語、和語＋漢語、外来語、外来語＋漢語、漢語＋外来語を使用………政治

となり、各分野が使用語種によって特徴づけられている。

以上、「的」の前に付く語の語種は、漢語の場合がもっとも多く、次いで外来語、外来語と漢語との組合せ、和語と漢語との組合せの順で少なくなり、最も少ないのが和語である。

そこで、漢語以外の語種を使用する分野を見ると,

* 文芸活動…………和語大阪
* 文化一般…………外来語 イテオロギー、カリスビ名、ヘラクレス

-82-
経済、社会問題…外来語 ゲリラ、ピラミッド、データ、ボス、リベルタリアン
混種語 シェア争い、反イスラーム
・政治………和語 接ぎ木
外来語 アジア、イスラム、イタリア、イデオロギー、スケジュール、ファシスト
混種語 ヤミ献金、高楊枝、イスラム主義、反イスラム、反ロシア

ここで、どの分野でも使用される語種である漢語についてさらに細かくその語構成を見ると、表6のようになる。

全体的に見ると、漢語の中でも2字漢語がもっとも使用されている。中には「常識」という2字漢語に「　」をつけ、「常識」のように特別な意味合いを持たせているものもある。次いで3字漢語、4字漢語、1字漢語の順になっている。3字漢語は2字漢語の前後に1字漢語がつくという語構成をとっており、全体では「1字漢語 + 2字漢語」が12語、「2字漢語 + 1字漢語」が17語と両者が近接した語数である。中でも「非」「反」といった否定を表す1字漢語と2字漢語との組合せは異なり語数で8語あり「1字漢語 + 2字漢語」の中での割合が高い。

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化</th>
<th>社会</th>
<th>異歴</th>
<th>伝記</th>
<th>文芸</th>
<th>医学</th>
<th>广告</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1字漢語</td>
<td>1</td>
<td>5</td>
<td>1</td>
<td>9</td>
<td>4</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>10</td>
</tr>
<tr>
<td>2字漢語</td>
<td>142</td>
<td>28</td>
<td>115</td>
<td>94</td>
<td>48</td>
<td>5</td>
<td>12</td>
<td>17</td>
<td>257</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3字漢語</td>
<td>59</td>
<td>0</td>
<td>12</td>
<td>48</td>
<td>5</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>30</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4字漢語</td>
<td>3</td>
<td>6</td>
<td>115</td>
<td>94</td>
<td>52</td>
<td>5</td>
<td>15</td>
<td>23</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>5字漢語</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>161</td>
<td>34</td>
<td>143</td>
<td>109</td>
<td>52</td>
<td>5</td>
<td>15</td>
<td>23</td>
<td>325</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

3字漢語は、「1字漢語 + 2字漢語」と「2字漢語 + 1字漢語」との組合せから成っており、その用例は次のとおりである。

1字漢語 + 2字漢語…前時代、多民族、中長期、超党派、反外交、反社会、反倫理、非軍事、非効率、非好意、非暴力、非友好
2字漢語 + 1字漢語…運動学、記念碑、近視眼、形容詞、指揮者、実体法、神経症、人
類学、世界史、生態学、地質学、地世学、地政学、日本人、範型論、武士道、法律論、薬理学

このように、「1字漢語 + 2字漢語」では「非」「反」といった否定を表す1字漢語が12語中8語使用されており、2字漢語の前に接続して「～的」に使用される1字漢語としての特色を出ている。「2字漢語 + 1字漢語」は「学」が17語中7語使用されており、2字漢語の後に接続して使用される特徴的な1字漢語となっている。使用されている異なり語数は2字漢語の前に接続するものよりも後に付くものが多い。

3字漢語についてさらにその語構成を見ると表7のようになる。政治、社会問題、医学健康、広告では「1字漢語 + 2字漢語」の方が「2字漢語 + 1字漢語」よりも異なり語数が多い。または同数であるのに対して、歴史伝記、文化一般は「2字漢語 + 1字漢語」の方が多い。文化一般では「中・長期的」のように「・」で結ばれたものが見られた。

表7：3字漢語の語構成

<table>
<thead>
<tr>
<th>語構成</th>
<th>専門分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>社会問題</th>
<th>医学健康</th>
<th>文芸活動</th>
<th>文化一般</th>
<th>広告</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1字+2字漢語</td>
<td>5</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>4</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>3</td>
<td>1</td>
<td>12</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2字+1字漢語</td>
<td>5</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>9</td>
<td>1</td>
<td>18</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>5</td>
<td>0</td>
<td>3</td>
<td>6</td>
<td>2</td>
<td>0</td>
<td>11</td>
<td>2</td>
<td>30</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

4字漢語はすべて「孤立＋主義」「中央＋集権」のように2字漢語と2字漢語との組合せによって語が構成されている。政治では「政治・経済」のように2語の漢語が「・」で結ばれている用例がある。8字漢語は社会問題の分野で見られた「政治・経済・文化・社会的」の1例で2字の漢語が「・」で結ばれている。表6を百分率で示すと表8のようになる。

各語構成で分野を見ると、1字漢語をもっとも使用しているのは広告で8.7％、第2位が医学健康で6.7％、第3位が文化一般の6.3％、そして社会問題の3.7％、政治の3.1％、経済の2.9％となり、歴史伝記、文芸活動では使用されていない。

2字漢語は全分野においてもっとも使用されており、第1位は文芸活動で100％、第2位は歴史伝記で92.3％、第3位は政治で88.2％、第4位は社会問題で86.2％、次いで経済の82.4％、文化一般の80.4％、医学健康の80.0％、広告の73.9％であった。

3字漢語は医学健康でっとも使用され13.3％で、第2位が広告で8.7％、第3位が文化一般で8.4％、第4位が歴史伝記で5.8％、次いで社会問題で4.2％、政治が3.1％で、経済と文芸活動では0％であった。
表8：各分野別に見た漢語の語構成の割合
（表内の数字は％）

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野 語構成</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学健康</th>
<th>広告</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1字漢語</td>
<td>3.1</td>
<td>2.9</td>
<td>6.3</td>
<td>3.7</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>6.7</td>
<td>8.7</td>
</tr>
<tr>
<td>2字漢語</td>
<td>88.2</td>
<td>82.4</td>
<td>80.4</td>
<td>86.2</td>
<td>92.3</td>
<td>100</td>
<td>80.0</td>
<td>73.9</td>
</tr>
<tr>
<td>3字漢語</td>
<td>3.1</td>
<td>0</td>
<td>8.4</td>
<td>4.2</td>
<td>5.8</td>
<td>0</td>
<td>13.3</td>
<td>8.7</td>
</tr>
<tr>
<td>4字漢語</td>
<td>3.7</td>
<td>8.8</td>
<td>5.6</td>
<td>3.7</td>
<td>1.9</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>8.7</td>
</tr>
<tr>
<td>8字漢語</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0.9</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
<td>100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4字漢語は、経済が8.8％もっとも使用しており、第2位は広告で8.7％、第3位が文化一般で5.6％、次いで政治、社会問題で3.7％、歴史伝記で1.9％となり、文芸活動、医学健康では使用されていない。

8字漢語は、社会問題のみで使用されその使用率は0.9％とわずかであった。

このような、漢語の語構成も各分野の特徴を反映している。つまり、「法的」「劇的」といった「1字漢語＋的」は広告の特徴を反映し、歴史伝記、文芸活動では1字漢語が使用されないという面でこれらの専門分野の特徴を反映する。2字漢語はどの分野でもよく使用されるが、特に文芸活動では100％使用されている。「神経症的」「反社会的」といった3字漢語は医学健康や文化一般の特徴を反映し、経済や文芸活動では3字漢語が使用されないという面でこれらの分野の特徴を反映する。同様に4字漢語は広告、経済の特徴を反映し、文芸活動や医学健康では使用されないという面でその特徴を反映する。8字漢語では社会問題の特徴を反映している。

そこで、語構成から専門分野を見ると次のようになる。

2字漢語のみ使用…………………………………………文芸活動
1字漢語、2字漢語、3字漢語使用……………………医学健康
1字漢語、2字漢語、4字漢語使用……………………経済
2字漢語、3字漢語、4字漢語使用……………………歴史伝記
1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語使用……政治、広告、文化一般
1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語、8字漢語使用……社会問題

すなわち、文芸活動では2字漢語しか使用されていない。医学健康では4字漢語が、経済では3字漢語が使用されない。歴史伝記では1字漢語が使用されていない。政治、文化一般、広告は1字漢語、2字漢語、3字漢語、4字漢語が、社会問題では1字漢語、2字

-85-
漢語、3字漢語、4字漢語、8字漢語が使用されている。

2）表記

そこで、以上の語種がどのように表記されて「的」の前については、表9のようになる。

表9：的の前につく語の表記（表内の数字は異なり語数）

<table>
<thead>
<tr>
<th>語種</th>
<th>表記</th>
<th>専門分野</th>
<th>政治</th>
<th>経済</th>
<th>文化一般</th>
<th>社会問題</th>
<th>歴史伝記</th>
<th>文芸活動</th>
<th>医学</th>
<th>健康</th>
<th>広告</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>漢語</td>
<td>漢字</td>
<td></td>
<td>159</td>
<td>34</td>
<td>143</td>
<td>104</td>
<td>52</td>
<td>6</td>
<td>15</td>
<td></td>
<td>23</td>
<td>325</td>
</tr>
<tr>
<td>和語</td>
<td>漢字</td>
<td></td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日語＋漢字</td>
<td></td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>外来語</td>
<td>カタカナ</td>
<td></td>
<td>6</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>3</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>14</td>
<td>14</td>
</tr>
<tr>
<td>混種語</td>
<td>漢字</td>
<td></td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日語＋漢字</td>
<td></td>
<td>4</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>5</td>
<td>5</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>日語＋漢字＋ひらがな</td>
<td></td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>171</td>
<td>37</td>
<td>143</td>
<td>108</td>
<td>52</td>
<td>6</td>
<td>15</td>
<td></td>
<td>20</td>
<td>347</td>
</tr>
</tbody>
</table>

まず、語種の視点から見て、漢語はすべて漢字で表記されている。和語は「接ぎ木」と「大阪」の2例があり、いずれもひらがなと漢字の組合せ、または漢字で表記されている。外来語はすべてカタカナで表記されている。混種語には和語と漢語、外来語と漢語の組み合わせがあったが、和語と漢語の組合せである「ヤミ献金」「高楊枝」はカタカナと漢字、または漢字で表記され、ひらがなのみでは表記されていない。外来語と漢語の場合もカタカナと漢語との組合せによって表記されている。「主義」「献金」といった漢語が後につくもののほかに、「反」という1字漢語がつくものがあった。以上から

漢語の表記……………………すべて漢字
和語の表記……………………漢字、ひらがな＋漢字
外来語の表記……………………カタカナ
混種語（外来語＋和語）の表記……カタカナ＋漢字＋ひらがな
混種語（和語＋漢語）の表記……漢字、カタカナ＋漢字
混種語（外来語＋漢語、漢語＋外来語）の表記……カタカナ＋漢字

であり、語種によって表記に特徴が出る。
また、専門分野別に見ると、どの分野も共通して漢字による表記のものが最多多く、ひらがなのみの表記はない。政治、経済、社会問題、文化などではカタカナ表記も見られるが、歴史伝記、医療健康、文芸活動、広告ではカタカナ表記は見られない。政治では他に「ひらがな＋漢字」（「挨拶木」）が見られた。

5 「～的」の前につく語と専門分野との関係

ここで、「～的」と分野との関係、「～的」の前につく語を語構成と表記の点から見て、「～的」がよく使用される分野、使用されない分野があること、漢語以外は分野によって使用状況に特色が出ること、カタカナも同様に分野によって使用状況に差が出ることがわかった。そこで、「～的」が各分野の話題を特徴づける語を明らかにしてみよう。

ここでは「～的」の前につく語の意味と使用度数に着目して、各専門分野の語を使用度数順に並べたと表10のようになる。

表10：「～的」の前につく語の分野別使用度数順表（数字は使用度数）

A 政治
36…政治的
16…公的
12…積極的、最終的、経済的
11…長期的、歴史的
10…国際的、効果的、実質的
7 …合理的、圧倒的、軍事的、地域的、個人的、非軍事的、安定的、民主的
6 …基本的、精神的、イスラム的、普遍的
5 …全般的、伝統的、道徳的、平和的、批判的
4 …実務的、戦略的、反イスラム的、文化的、法的、本格的、思議的、現実的
3 …～時的、一方的、協調的、社会的、人的、世界的、直接的、必然的、物質的、本質的、野心的
2 …意思的、一般的、開放的、外交的、楽観的、機械的、形式的、決定的、孤立主義的、恒常的、支配的、自動的、実体的、社会的、宗教的、心理的、世俗的、絶対的、戦術的、総体的、中心的、中長期的、抽象的、敵対的、徹底的、否定的、飛躍的、平和的、暴力的、躍動的、論理的
1 …アジア的、イスラム主義的、イタリア的、イデオロギー的、スケジュール的、ファシスト的、ヤミ献金的、一義的、永続的、汚職的、横断的、欧米的、可及的、過激主義
の、画期的、危機的、機能的、記念碑的、儀礼的、疑似論理的、客観的、救済的、究極的、距離的、教義的、近代的、金銭的、結果的、建設的、古典的、固定的、好意的、攻撃的、構造的、高揚的、国民的、暫定的、指揮者の、事後の、時期的、自覚的、自発的、実体法的、主観的、主導的、儒教的、周辺的、集中的、消極的、情緒的、進歩的、人為の、人間的、垂直的、超党派的、制限的、政治・経済的、接ぎ木的、絶望的、全体主義的、全面的、対外的、対決的、単発の、知の、知政学的、党派的、同情的、独断的、日常的、能率的、反ロシア的、反論理的、犯罪的、悲観的、悲劇的、比較的、非効率的、非暴力的、表面的、武士道的、部分的、副次的、平均的、保守的、包括的、法律的、民族的、有機的、理性的

B 経済
4 …経済的
3 …資本主義的、循環的、比較的
2 …自主的、構造的、技術的、基本的、ピラミッド的、一時的、平均的、対照的、世界的
1 …画一的、古典的、国際的、安定的、ゲリラ的、人数的、公的、シェア争い的、制度的、政策的、相対的、持続的、大々的、伝統的、薄利多売的、高度成長的、複合的、最終的、本質的、魅力的、良心的、歴史的

C 文化一般
10 …国際的、社会的
9 …基本的
8 …歴史的
7 …知的
6 …具体的、積極的
5 …宗教的、経済的、本格的
4 …本質的、世界的、人間的、一般的
3 …近代的、心情的、商人的、客観的、中国的、長期的、直感的、日本的、非友好的、個人の、圧倒的、最終的
2 …カリスマ的、縦度的、一方的、印象的、画期的、概念的、感情的、均質的、空間的、始原的、私的、神話的、性的、政治的、総合的、内発の、日本人の、地質学的、中・長期的、仏教的、魅力的、民族的
1 …イデオロギー的、ヘラクレス的、意図的、運動学的、運動感覚的、怪物的、隔世遺伝的、楽観的、喚起的、能動的、観念的、基礎的、記念碑的、儀礼的、技術的、驚異的、偶然的、兄弟的、好戦的、恒常的、構造的、肯定的、行動的、合理的、今日的、砂漠
的、財政的、思想的、詩的、事後的、自覚的、自然科学的、自然主義的、実証的、社会的、重層的、小説的、情緒的、進歩的、人種的、人的、隨筆的、世界史的、性的、形容詞的、経験的、劇的、決定的、固定的、精神運動的、精神的、紛朝の、専制的、戦闘の、旋律の、前時代的、全面的、相対的、亜微的、断続的、知覚心理的、地域的、地球的、中央集権的、中間的、中長期的、定期的、定形的、伝説的、伝統的、動的、特権的、爆発的、悲劇的、批判的、断続的、精神運動的、精神的、絶望的、専制的、戦闘的、旋律的、前時代的、全面的、相対的、亜微的、即物的、断続的、知覚心理的、地域的、中央集権的、中間的、原始的、現実的、個性的、地球的、中長期的、定期的、定形的、伝説的、伝統的、動的、特権的、爆発的、悲劇的、批判的、比較的、飛躍的、普遍的、封建的、風土的、政策的、政治・軍事的、生態學的、複合的、物質の、文化交流的、文学的

D 社会問題
12…政治的
7 …経済的
6 …基本的
5 …全般的、具体的、全面的、常識的
4 …伝統的、歴史的、決定的、法律的
3 …保護主義的、否定的、本質的
2 …物理的、形式的、印象的、将来の、劇的、リベルタリアン的、近視眼的、徹底的、人類学的、世界的、民族的、積極的、非友好的、楽観的、実質的、最終的、短期的、批判的、人口動態的、社会の、法的、本格的、実験的、飛躍的、長期的
1 …データ的、ポス的、圧倒的、意識的、意図的、一般的、加速的、階級的、活動的、感傷的、観念的、基礎的、記録的、技術的、急進的、軍事的、継続的、結果的、建設的、現実的、結果的、好意的、恒久的、肯定的、合法的、国際的、市民的、死活的、私的、時間的、自動的、周期的、宗教的、集中的、衝撃的、人的、政治・経済・文化・社会的、精力的、西洋的、先進的、全域的、全国的、多民族的、地域的、中核的、中心的、中長期的、中立的、抽象的、定期的、典型的、同時並行的、政治・経済的、発作的、抜本的、反イスラーム的、悲劇的、比較的、非好意的、表面的、物質主義的、文化的、米国の、法実的、民主的、優先的、有機的、例外的

E 歴史伝記
12…国際的
10…長期的

- 89 -
7…戦術的
6…戦略的、積極的
5…最終的、短期的
4…政治的
3…効果的、帝国主義的、例外的、基本的、偶然的、具体的
2…楽観的、死活的
1…意図的、学問的、記念碑的、協調的、啓蒙的、建設的、古典的、好意的、攻撃的、構造的、国家的、世界的、全般的、相互的、妥協的、対照的、段階的、地世学的、中心的、道義的、道徳的、反外交的、悲劇的、必然的、保守的、歴史的

F 文芸活動
1…開明的、客観的、精神的、大阪的、定期的、物理的

G 医学健康
3…消極的
2…集中的、一般的、客観的、積極的
1…好意的、実質的、根本的、神経症的、反社会的、比較的、病的

H 広告（目次を除く）
3…政治的
2…基本的、具体的、世界的
1…悪魔的、機能主義的、共時的、劇的、古典的、構成主義的、国際的、根本的、刺激的、指導的、実証的、専門的、代表的、徹底的、範型論的、非友好的、巫術的、法的、歴史的

各専門分野ごとの「〜的」の前につく語を使用度数ごとの異なり語数で整理すると表11のようなになる。表11は特定の単語「〜的」が頻繁に使用されるかどうかは分野によって異なることを示している。たとえば、政治では「政治的」という1語が36回使用され、「公的」は16回使用されている。社会問題では「政治的」が、歴史伝記では「国際的」が12回使用され、文化一般では「国際的」「社会的」が10回ずつ使用されている。これに対して、経済では、「経済的」が4回、医学健康では「消極的」が3回、広告では「政治的」が3回しか使用されていない。さらに文芸活動ではすべての「〜的」が1回ずつしか使用されていない。このように、特定の「〜的」を繰り返し何度も使用するという特色はその専門分野の性質を反映している。
表11：各分野における使用度数順異なり語数
表内の数字は異なり語数、（ ）内の数字は累積異なり語数％

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>使用度数</th>
<th>A政治</th>
<th>B経済</th>
<th>C文化一般</th>
<th>D社会問題</th>
<th>E歴史伝記</th>
<th>F文芸活動</th>
<th>G医学健康</th>
<th>H広告</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>3 6</td>
<td>1(0.6)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (0.9)</td>
<td>1 (1.9)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6 0</td>
<td>1(1.2)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (0.9)</td>
<td>1 (3.8)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 2</td>
<td>3 (2.3)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (1.9)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 1</td>
<td>2 (4.1)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (2.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 0</td>
<td>3 (5.8)</td>
<td>2 (1.3)</td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (3.8)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>9 0</td>
<td>1 (1.9)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>1 (3.8)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>7 0</td>
<td>1 (2.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6 5</td>
<td>2 (4.4)</td>
<td>1 (2.8)</td>
<td>1 (3.8)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>5 5</td>
<td>3 (6.6)</td>
<td>4 (6.5)</td>
<td>2 (13.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4 7</td>
<td>1 (2.9)</td>
<td>4 (8.6)</td>
<td>4 (12.2)</td>
<td>1 (15.4)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 12</td>
<td>12 (25.1)</td>
<td>3 (13.0)</td>
<td>5 (28.6)</td>
<td>1 (5.8)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 32</td>
<td>32 (49.1)</td>
<td>9 (38.2)</td>
<td>22 (30.2)</td>
<td>24 (35.2)</td>
<td>13 (33.8)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 99</td>
<td>99 (100.0)</td>
<td>21 (100.0)</td>
<td>99 (100.0)</td>
<td>71 (100.0)</td>
<td>27 (100.0)</td>
<td>6 (100.0)</td>
<td>10 (100.0)</td>
<td>19 (100.0)</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>171 (100.0)</td>
<td>35 (100.0)</td>
<td>159 (100.0)</td>
<td>108 (100.0)</td>
<td>52 (100.0)</td>
<td>6 (100.0)</td>
<td>15 (100.0)</td>
<td>23 (100.0)</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

さらにこの特徴を明らかにするために、各分野に使用度数順累積延べ語数を整理していくと表12のようになる。

表12：各分野における使用度数順延べ語数
表内の数字は語数、（ ）内の数字は％

<table>
<thead>
<tr>
<th>専門分野</th>
<th>使用度数</th>
<th>A政治</th>
<th>B経済</th>
<th>C文化一般</th>
<th>D社会問題</th>
<th>E歴史伝記</th>
<th>F文芸活動</th>
<th>G医学健康</th>
<th>H広告</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>3 6</td>
<td>36 (7.6)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>12 (6.4)</td>
<td>12 (9.8)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6 0</td>
<td>52 (10.1)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>22 (17.9)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 2</td>
<td>88 (18.6)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>29 (10.9)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 1</td>
<td>110 (23.2)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>44 (16.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 0</td>
<td>140 (29.5)</td>
<td>20 (7.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>19 (10.2)</td>
<td>29 (23.6)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>9 0</td>
<td>29 (10.9)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>8 7</td>
<td>37 (13.9)</td>
<td>44 (16.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6 5</td>
<td>220 (46.4)</td>
<td>56 (21.1)</td>
<td>22 (13.4)</td>
<td></td>
<td>41 (33.3)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>5 5</td>
<td>251 (54.2)</td>
<td>71 (26.7)</td>
<td>40 (24.1)</td>
<td>51 (41.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4 7</td>
<td>279 (58.4)</td>
<td>41 (7.7)</td>
<td>71 (26.7)</td>
<td>61 (32.7)</td>
<td>51 (41.5)</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 3</td>
<td>315 (66.0)</td>
<td>123 (25.0)</td>
<td>71 (36.9)</td>
<td>70 (59.3)</td>
<td>3 (14.3)</td>
<td>3 (17.9)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 2</td>
<td>379 (79.5)</td>
<td>123 (25.0)</td>
<td>71 (36.9)</td>
<td>70 (59.3)</td>
<td>3 (14.3)</td>
<td>3 (17.9)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>1 1</td>
<td>474 (100.0)</td>
<td>266 (100.0)</td>
<td>187 (100.0)</td>
<td>123 (100.0)</td>
<td>6 (100.0)</td>
<td>21 (100.0)</td>
<td>28 (100.0)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>474 (100.0)</td>
<td>53 (100.0)</td>
<td>266 (100.0)</td>
<td>187 (100.0)</td>
<td>123 (100.0)</td>
<td>6 (100.0)</td>
<td>21 (100.0)</td>
<td>28 (100.0)</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

特定の語の繰り返しがもっとも多く見られた政治の分野では、「政財的」1語で、全体の7.6％を占めている。使用度数1回以上の語は異なり語数171語のうち10語あり、全体の29.5％、つまり4分の1以上を占めている。この全体の4分の1の25.0％を目安に各分野の使用度数を見ると、政治は10、歴史伝記は6、文化一般は5、社会問題は4、経済は3、医学健康、広告は2、文芸活動は1でそれぞれの分野の25.0％を超える。

また、50.0％を目安に各分野の使用度数を見ると、政治は5、歴史、社会、文化一般、医学健康は2、文芸活動、広告は1である。

これを異なり語数との関係で見ると表13のようになる。
図1：各分野の使用度数と延べ語数との関係 上段は使用度数、下段は％

A 政治
使用度数
延べ語数

B 経済
使用度数
延べ語数

C 文化一般
使用度数
延べ語数

D 社会問題
使用度数
延べ語数

E 歴史伝記
使用度数
延べ語数

F 文芸活動
使用度数
延べ語数

G 医学健康
使用度数
延べ語数

H 広告
使用度数
延べ語数

政治は上位5.8％の語で全体の25.0％以上を、上位16.4％の語で全体の50.0％以上を占め、特定の「〜的」が大きな割合を占めている。これに対して、文化一般、社会問題、歴史伝記は全体の25.0％を上位約10.0％の語が占めているが、全体の50.0％では上位約30.0％の語が使用され、政治に比べてより多くの「〜的」が使用されている。経済は全体の延べ語数が少ないが社会問題と同じ傾向を持つ。医学健康は50.0％で見ると「〜的」が繰り返されている。文芸活動、医学健康、広告は全体の延べ語数も少なく、「〜的」の繰り返しも少ない。

したがって、上位使用語の使用度数によって各専門分野を次のように分類できる。
①延べ語数が多く特定の「〜的」を集中して使用する分野
（異なり語数上位約15.0％で分野全体の延べ語数の50.0％以上を占める）
政治………政治的、公的、積極的、倫理的、最終的、最終的、長期的、国際的、効果的、
実質的、合理的、圧倒的、軍事的、地域的、個人的、非軍事的、安定的、民主的、基本的、精神的、イスラム的、普遍的、全域的、伝統的、道徳的、根本的、批判的
②延べ語数が多く特定の「〜的」をやや集中して使用する分野
（異なり語数上位約10.0％で分野全体の延べ語数の25.0％以上を占める）
文化一般…国際的、社会的、基本的、倫理的、知的、具体的、積極的、経済的、宗教的、
本格的
社会問題…政治的、経済的、基本的、全般的、具体的、全面的、常識的、伝統的、歴史的、決定的、法律的
歴史伝記…国際的、長期的、軍事的、戦略的、積極的、最終的、短期的、政治的
③延べ語数は少ないが特定の「〜的」を集中して使用する分野
（異なり語数上位約10.0％で分野全体の延べ語数の25.0％以上を占める）
経済………経済的、資本主義的、循環的、比較的
④使用延べ語数が少ないが特定の「〜的」をやや集中して使用する分野
医学健康…消極的、集中的、一般的、客観的、積極的
⑤使用延べ語数が少なく「〜的」を繰り返し使用しない分野
文芸活動、広告
また、各分野の上位約10.0％の使用語で（注2）2分野以上に共通して使用されている「〜的」は次のように整理できる。
4分野に共通…積極的、経済的
3分野に共通…政治的、歴史的、国際的
2分野に共通…最終的、長期的、軍事的、基本的
以上のような語がより広い分野で頻繁に使用される「〜的」である。
そこでさらに特徴を明らかにするためにそれぞれの分野の使用語を意味の観点から考察する。

1）政治分野における「〜的」
使用度数が36もっともも高かったのは「政治的」で次のように使用され、この分野をもっとも反映するものとなった。
a.「…そのため天皇訪中は、にわかに政治的意味合いを濃くすることになる。…」
（『中央公論』1992年11月号：37）
b. 「…ベビーブーマーの投票行動、政治的価値観とはどのようなものなのか。…」
（『中央公論』1992年11月号：98）

全体の50.0%以上を占める使用度数5以上の語を見ると、「政治的」「経済的」「軍事的」「民主的」「非軍事的」のような政策に関係する語が多く使用されている。また、「国際的」「地域的」「全域的」「イスラム的」といった地域を表す語、「公的」「個人的」のように公私を表す語、「積極的」「批判的」のように態度を表す語、「伝統的」「道徳的」のような文化を反映する語が多く使用されており、政治という話題の特徴を反映している。

2）経済分野における「～的」
経済では「経済的」「資本主義的」など「経済関係の語～的」の割合が高い。そして、「経済関係の語～的」でも他の分野では見られないような語形が出てきており、経済という分野のなかでは、経済関係の意味グループに属する語はかなり自由に造語されている。
たとえば、
c. 「…これは産業界でも議論されていることですが、従来の簿利多売的なもの、シェア争い的なもの、あるいは…」
（『中央公論』1992年11月号：63）
d. 「…私は高速成長的なやり方よりも、持続的なインフレなき成長を…」
（『中央公論』1992年11月号：64）
このような語は、経済活動における具体的な活動・現象をそのまま語基としつつの「的」をつけている点で、「固有名詞～的」と同じように、「～のような」という意味で機能している。
また、「～的」は「他との比較によって云々」という意味を根底に持つ、相関関係に関する「基本的」「相対的」といった語が多い。たとえば、
e. 「…だから、基本的には下落傾向にある地価をあげては困る。…」
（『中央公論』1992年11月号：62）
f. 「…住宅や日常生活に要する製品やサービスの価格が相対的に高いからであり、…」
（『中央公論』1992年11月号：113）
といった用例があげられる。
経済の分野では「相関関係～的」「経済関係～的」が多く使用されている。

3）文化一般分野の「～的」
「友好」「非友好」といった、「思考感情関係の語～的」の使用が群を抜いている。地理関係の語では「中国的」「日本的」が使用度数が6、「世界的」「国際的」が使用度数が8と、ここでも国際化時代を反映していて多く使用されている。また「基本的」「本質的」といった他との関係で定義されるような相関関係の語の使用も多い。

- 94 -
それに対して、学問・主義主張に関係する「抽象思考関係の語＋的」の使用は、政治・経済・歴史伝記・社会問題と異なり、使用度数が低い。さらに
g.「植村さんの心の中にも僕と同じコンプレックスがありましたね。彼はそれをポジティブなエネルギーにしようと必死だった。」
(『中央公論』1992年11月号：210)
のように、「積極的」という言葉に変わって「ポジティブ」という外来語が使われている。昨今、「アクティブ」とか「ネガティブ」というような言葉を「〜的」に変わって会話のなかで使用しているのを耳にすることがある。このような現象には外来語の使用がふれているのと同じように「〜的」よりもタカラガ表現するほうが語に対する感性がある、うまく意図が伝わる、かっこいいという使用者の感性が反映しているように思われる。
以上、「思考感情関係の語＋的」の使用が多く見られる反面、学問・主義主張に関係する「抽象思考関係の語＋的」の使用は低い。そして「〜的」というよりもむしろ「ポジティブ」と原語そのままの表現を採用する傾向が見られる。

4）社会問題分野の「〜的」
「一般的」「全般的」「全面的」「徹底的」のような「程度を表す語＋的」の使用が目立って高い。たとえば、
h.「…ペローがワシントンの議会を徹底的に批判し、反対することによって得点を稼いだように…」
(『中央公論』1992年11月号：105)
i.「…自分のことという特定の問題が、考えるいつのまにか “女” という一般的な問題になって、女という広がりのあることがいつのまにか “自分の問題” という閉じたところに行っちゃって…」
(『中央公論』1992年11月号：249)
j.「…これに該当する約六十万世帯は、煮炊きを全面的に諦めることになる。…」
(『中央公論』1992年11月号：305)
といった具合にである。
また、「保護主義的」「物質主義的」「人類学的」といった頭のなかでまとめあげられていく概念のような抽象的思考に関する語が結婚問題、国際問題という話題のなかでかかなり出てくることも特徴のひとつとなろう。使用度数の高いものの分布の仕方は文化一般とよく似ている。
以上のことから、「一般的」「全般的」「全面的」「徹底的」のような「程度を表す語＋的」は多く使用されており社会問題分野を特徴づけているということができる。
5）歴史伝記分野の「～的」

使用度数が高かったのは、「最終的」「一時的」「長期的」「短期的」といった時間関係の語である。これは、この記事の分野が時間と共に変化している歴史伝記関係であるということだけではなく、記事の内容もアメリカの外交政策を取り扱っていた、どのようなヴィジョンを持ったかという説明が求められる内容で、そこに「長期的」「短期的」という語が使用されるようになっていることによる。「政治的」「経済的」という政策に関する語、「基本的」「具体的」といった相関関係に関する語、「全般的」「全面的」のように「数量などで程度を表す語～的」はよく使用されているのに対して「積極的」「消極的」のような態度を表す語はあまり使用されていない。

6）文芸活動分野の「～的」

これも、母集団の小さい分野で、延べ語数と異なり語数が同数で、どの「～的」も繰り返して使われておらず、これが文芸活動の特徴を反映していると思われる。「大阪的」という地理関係の語、「開明的」という性質状態描写の語、「定期的」という時間関係、「客観的」という思考感情関係の語など少数でバラついている。

7）医学健康分野の「～的」

この分野も母集団が非常に小さい。その中でも「消極的」が使用度数3、「一般的」「客観的」「集中的」「消極的」が使用度数2で、この5語でこの分野の延べ語数の約50％を占めている。

他の分野ではあらわれにくかった「病気関係の語～的」というものがあるのが特徴としてあげられる。とくに生死にかかわる語で「病的」「神経症的」という語である。

8）広告分野の「～的」

『中央公論』に載せられた広告というのは、書籍に関するものがほとんどで、時計・ホテル・航空会社・車に関するものが多く、内容的にほとんど文化・政治と共通する。使用度数を見ると、「政治的」「世界的」「具体的」が2回の他はすべて1回であり、特定の語が集中して使用されているということは言えない。

以上から、専門分野は「～的」の語基の意味範囲より次のように特徴づけることができる。

政治・「政治的」「経済的」「軍事的」のような政治関係の語
「国際的」「地域的」「全領域」「イスラム的」といった地域を表す語
「公的」「個人的」のように公私を表す語
「積極的」「批判的」のように態度を表す語
「伝統的」「道徳的」のような文化を反映する語
経済……「経済的」「薄利多売的」「高度経済成長的」のような経済関係の語「基本的」「相対的」のような相関関係の語
文化一般…「友好的」「非友好的」といった思考感情関係の語
「中国的」「日本的」「世界的」「国際的」といった地理関係の語
「基本的」「本質的」といった相関関係の語
社会問題…「一般的」「全般的」「全面的」のような程度を表す語
「保護主義的」「物質主義的」といった抽象的思考関係の語
歴史伝記…「最終的」「一時的」「長期的」「短期的」といった時間関係の語
医学健康、文芸活動、広告…使用度数が低く、特徴づけが難しい

6 まとめ

本稿では、1冊の雑誌を取り上げてそこで使用されている「〜的」という語をすべて取出し分析した。その結果以下のことが明らかになった。
①計量的に見ると、歴史伝記、政治の分野で「〜的」が頻繁に使用され、文芸活動、広告では「〜的」はあまり使用されない。つまり掲載記事の専門分野と「〜的」の使用語数とに関連がある。
②語種で見ると、「〜的」の前につく語では漢語が圧倒的に多い。なお、漢語以外について政治では和語（「接き木」）、外来語（「アジア」「イデオロギー」など）、混種語（「ヤミ献金」「イスラム主義」など）、社会問題では外来語（「データ」「ボス」など）、混種語（「反スラーム」）というような語種が使用される。また、文芸活動では和語（「大坂」）が使用されているが、歴史伝記、医学健康、広告などでは漢語のみが使用されており、使用される語種もまた専門分野と関連がある。
③表記で見ると、「〜的」の前につく語は漢字がもっとも多く、漢語はすべて漢字、和語はすべて漢字または「漢字＋ひらがな」になる。外来語はすべてカタカナで表記される。
④語別の使用度数で見ると、特定の語が繰り返し使用されるという特徴は政治の分野に顕著で、以下、文化一般、歴史伝記、社会問題、経済の順になる。
⑤意味で見ると、政治では「政策に関する語＋的」、経済では「経済関係の語＋的」のように、「〜的」の意味もまた各専門分野の特徴を反映している。

注
1）山田氏の述べている現在の用法とは、山田文法に従うとすべて副詞であり、橋本文法に従うと「比較的」のみが副詞で、他は形容動詞ということになる。
2）各分野の上位約10%とは、表11に基き、政治では使用度数7の10.5%、経済では使用度数3の11.8%、文化一般では使用度数4の8.8%まで、社会問題も使用度数4の10.2%、歴史伝記は使用度数6の9.6%まで、医学健康は使用度数3の6.7%、広告は使用度数3の10.7%までのことである。

参考文献
磯辺 弥一郎（1906.10）「国文における英語の感化」『文章世界』明治新聞雑誌文庫蔵
国立国語研究所（1957）『現代語の語彙調査 総合雑誌の用語』前編 秀英出版
国立国語研究所（1981）『分類語彙表』 秀英出版
国立国語研究所（1987）『雑誌用語の変遷』 国立国語研究所
飛田 良文 （1982）『現代語彙の概説』『講座日本語の語彙 現代の語彙』明治書院
藤居 信雄 （1957）『的いうことば』『言語生活』71号 筑摩書房
藤居 信雄 （1961）『的の意味』『言語生活』119号 筑摩書房
山田 嶼 （1961）『発生期における的いうことば』『言語生活』120号 筑摩書房

付記
最後にこのテーマを与えてくださり、細かくご指導くださった飛田良文先生に感謝の意を表します。